

地球が危ない

地球は今

「暑い日々が続きますが、いかがお過ごしでしょうか？」——暑中見舞いのはがきにはお馴染みの言葉です。この“暑い日々”の持つ意味合いが、年々大きく変化しています。

日本の平均気温は、過去100年で1.07℃上がりました。気温が1℃上がると洪水や暴風雨、森林火災の増加という異常気象が起こります。ほかにも、水不足に悩まされる人がこれまで以上に増え、その数は数億人にのぼるともいわれています。また、1960年頃に日本で観測された熱帯夜が15日だったのに対し、現在は30日と2倍に増えています。さらに東京では、過去100年で平均気温が約3℃も上がっていて、ほかの地域にくらべて温暖化が進んでいることが分かります。

人体への影響

このまま温暖化が進めば、わたしたち「人」にとっても直接影響が出てきます。

今後、地球の温度が上がっていくと、日本の6～8月はほぼ毎日真夏日となり、熱中症被害者が増加し、死亡率も高くなるといわれています。とくに都会では、地面の多くが熱をためやすいアスファルトやコンクリートに覆われています。そのため、夜になっても気温が下がらず熱帯夜となり、私達の睡眠に及ぼす影響も深刻です。

また、気温が上がることによって、現在暖かい地域に生息している蚊などが、本州でも生息できるようになり、大量発生してしまう恐れがあります。それは同時に、マラリアなどの伝染病も運んできてしまうということです。

わたしたちと温暖化

地球とわたしたちはつながっています。それは地球の健康状態が悪くなれば、わたしたちの健康も危なくなるということです。

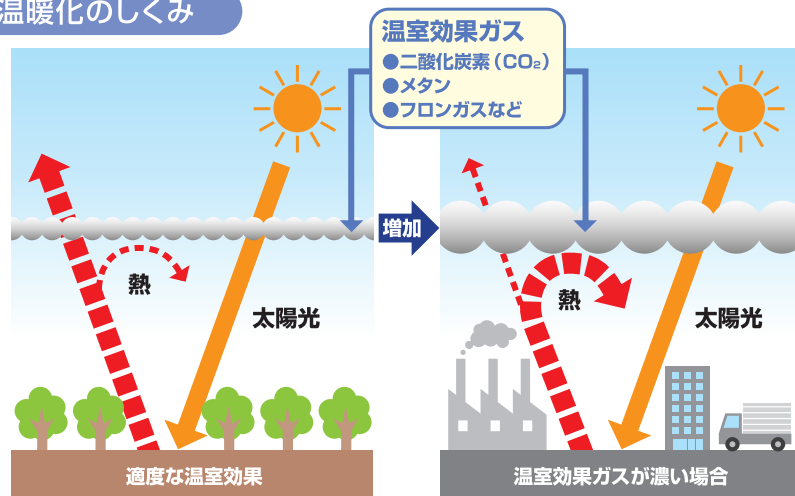
現在、地球の健康状態は悪くなってきています。水面上昇や気温上昇、近年の異常気象などは、私たちの生活にも関わってくる問題です。

地球の健康のために、そして自分の健康のために、手遅れになる前に少しでも行動してみませんか。たとえばモノを購入する前に、「これは本当に必要なのか」とよく考えてから買う。また使わなくなったものをゴミとして処分する前に、別の使い道を考え再利用するだけでも温暖化防止につながります。自分に何ができるか考えてみましょう。



都心部を中心に気温上昇が進む

温暖化のしくみ



環境改善を呼びかけるポスターが増えている
(豊島区立明豊中学校 今野和恵さん作品)